

日本の近現代史をどう見るか



[日本の近現代史をどう見るか 下载链接1](#)

著者:岩波新書編集部

出版者:岩波書店

出版时间:2010-2

装帧:平装

isbn:9784004310518

19世紀半ばの黒船来航から、21世紀の現在まで、およそ150年。近現代の日本は何を求める、どのような歩みを進めてきたのか。そしてこれからどこへ行こうとしているのだろうか。通史を描いた執筆者9名が、各時代の日本を理解する上で欠かせない問い合わせを掲げ、それに答えながら、総まとめをおこなう。シリーズへの入り口としても最適。

近代の幕開けから一五〇年余、日本は何を求める、どのような歩みを進めてきたのだろうか。そしてこれからどこへ行こうとしているのか。通史を描いた執筆者九名が、各時代の日本を理解するうえで欠かせない根本的な問い合わせを掲げ、それに答えながら、総まとめをするシリーズ最終巻。各章ごとに推薦書を紹介。日本近現代史への導入としても最適。

作者介绍:

譯者簡介:

徐靜波

現為復旦大學日本研究中心教授，專業領域為中日文化關係、中日文化比較。著作有《梁實秋：傳統的復歸》《東風從西邊吹來——中華文化在日本》《日本飲食文化：歷史與現實》《日本文化人與上海（一九二三—一九四六）》《上海の日本人社會とメディア》（合著）《和食的饗宴》；另有譯著《日清、日俄戰爭》（岩波新書·日本近現代史卷三）《蹇蹇錄——甲午戰爭外交秘錄》等十種，編著《日本歷史與文化研究》等九種，曾在神戶大學、京都大學等擔任招聘教授。

目录: 第1章 幕末期、欧米に対し日本の自立はどのように守られたか
第2章 なぜ明治の国家は天皇を必要としたか
第3章 日清・日露戦争は日本の何を変えたのか
第4章 大正デモクラシーとはどんなデモクラシーだったのか
第5章 一九三〇年代の戦争は何をめぐる闘争だったのか
第6章 なぜ開戦を回避できなかったのか
第7章 占領改革は日本を変えたのか
第8章 なぜ日本は高度成長ができたのか
第9章 歴史はどこへ行くのか
終章 なぜ近現代日本の通史を学ぶのか
· · · · · (收起)

[日本の近現代史をどう見るか](#) [下载链接1](#)

标签

日本史

历史

日本

自我启发

日语

原版

评论

看了一半。。。除了大正民主这张做了总结，其他章节大部分是补充说明，切入点也很小。这本还是应该放在系列最后读，虽然我大概读不完吧。。。。。

只看了前两章和终章，以及各章推荐的书目。感觉都很好。借最后一章，终于为自己一直思考的历史学沿革找到一点答案。简而言之，”战后历史学“处理的是民主和和平的问题，是反思，立足点是国家，至”民众历史学“则是关注个人，即目前国内兴起的个人史，将视野从国家、集体转移，关注历史中的个体，相比以前而言的边缘人的感受。”现代历史学“则处理的是，在前提条件，诸如”日本“”日本人“这些概念都不存在的情况下，在全球史的洪流下，如果理解日本的历史，尤其是把握过去和”当今“的联系。它并不反过去两种，只是需要处理更多前提条件的问题。这样看，日本的历史研究比国内还是走得远的多。

[日本の近現代史をどう見るか](#) [下载链接1](#)

书评

[日本の近現代史をどう見るか](#) [下载链接1](#)